

Title	広告業の経営分析
Sub Title	
Author	松井友一(Matsui, Tomokazu) 村井俊雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第435号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0435">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0435</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 0435

学生氏名 松 井 友 一  
( 株式会社電通 )

主査 村 井 俊 雄  
副査 藤 枝 省 人  
鈴 木 貞 彦

所属ゼミナール 鈴 木 貞 彦 研

## 広告業の経営分析

本研究のテーマは、「広告業のアメリカ進出要因の分析」である。アメリカの広告会社の対日進出と評価することにより、現在までの、日本の広告業のアメリカ進出が少ないことの原因を探るとともに、日本の広告会社のアメリカ進出が何の要因によるのかを解明する。

本論文は、次の5章から構成した。第1章は本論文の問題意識と論文の意義の確認である。第2章は、文献サーベイである。この章では、まず広告業のアメリカ進出の要因は、広告業の特性のなかにあるという考えから、特性の抽出と特性の海外移転の可能性をサーベイした。次に海外直接投資理論をサーベイすることにより、一般にいわれている進出要因と共通するものを検索した。第3章は、仮説の構築と調査方法である。第2章の文献サーベイを基礎として、仮説を導出した。調査方法としては、個別検証を実施した。具体的には、電通の検証を行った。第4章は、調査の結果である。仮説ごとに分析結果から見た検証を行った。第5章は結論である。分析結果のまとめを行った後、アメリカ進出についての筆者の見解を述べた。最後に本論文の限界に触れ、将来への課題を程示した。